

島本町都市計画マスタープラン改訂に係る ワークショップ ニュース

vol. 2

島本町のまちづくりに関するワークショップを開催しました！

島本町では、まちづくりの将来の方向性を定めた「都市計画マスタープラン」の改訂に現在取り組んでいます。

そこで、町内にお住まいの方を対象に将来の島本町がどのような町になればもっと魅力的になるかを皆さんにご意見をおうかがいするために、ワークショップ（意見交換）を開催しました。

日時：令和3年7月10日(土)10時～

場所：島本町役場

参加者：10名

内容：オリエンテーション

意見交換（取り組みのアイデア、
大事にすべきまちづくりの視点）

※感染症防止の観点から、検温、消毒、パーテーションの設置等を行いました。

意見交換

前回の意見交換内容を踏まえて、1班は「子育て」と「交通」、2班は「水・緑・自然」、「買い物・憩い」のテーマを中心に、どのような取組ができるか、何を大事にしたいかについて意見交換をしました。

1班

子育て

取組のアイデア

- ・産後のケアハウスがあるとよい
- ・子育てをしているお父さん、お母さんが集まれる場所づくり、イベントの開催
- ・子どもと接する機会が少ない人達も子育てに関われ、交流できる場をつくる
- ・ボール遊びができる場所をつくる
- ・町で働く人の社会見学を行う
- ・大沢キャンプ場跡地を有効活用し、より自然にふれられるようにする
- ・子どもが犯罪に巻き込まれない為の防犯ボランティアを実施
- ・ふれあいセンターを有効活用し、住民が集える場にする

重視する視点

- ・親がリラックス、安心できる、頼れる
- ・みんなが関わる当事者意識

交通

取組のアイデア

◎自転車

- ・レンタサイクルがあれば便利
- ・自転車レーンを道路に表示する
- ・自転車の交通ルールをつくる、マナーを教育する

◎バス

- ・島本町独自の循環バスがあれば良い（便数が多くななくてもニーズがあれば）
- ・島本町内バスの更なる利用を拡充する

◎生活道路

- ・水無瀬川緑地公園遊歩道は利用度も高く、定期的に除草すると、美観や安全性がより高まるのではないかと
- ・ヒヤットとする道路があるので、住民の意見を聞いて対策を考える

重視する視点

- ・必要な人がちゃんと使えること（電車やバス）
- ・安全であること

2班

水・緑・自然

取組のアイデア

◎畑

- ・畑を借りたい人は多いので、できる場が増えるといい
- ・耕作放棄地を若い人達の体験やイベントの場、いろんな世代のコミュニケーションの場として活用する

◎水

- ・離宮の水の自販機をつくる、町内の他のところからも汲めるようになると良いのではないかと
- ・水無瀬神宮周辺に飲食できる場所がほしい
- ・河川敷に休憩スポット(ベンチ、日陰)をつくる

◎PR

- ・マンションだけではなく、町外の人向けにいいところをPRする・ブランド力を向上する

重視する視点

- ・自然を守ることが重要
- ・自然のありのままを尊重
- ・大きな開発はしない

買い物・憩い

取組のアイデア

◎フリースペース

- ・屋根のあるフリースペースが欲しい
- ・待ち合わせができる場所があるといい

◎チャレンジできる場

- ・チャレンジしたい人が参入できる場を作る
- ・商店街に日替わりキッチンなど、新しい人や物を取り入れる

◎コワーキング

- ・駅周辺に勉強、リモートワークをできる場として空いているところを活用する



参加者より全2回の感想など

今あるものを大事にして磨いていくことが重要

山など今ある自然を守りたい

ワークショップに参加できてうれしい
どのようにまちづくりにつながるのか知りたい

ふれあいセンターを住民が有効利用できるようにしたい

子育てしやすい、住みやすい町になってほしい

安全安心な地域づくりが必要

都市計画の取組がどうなっているのか、情報発信が必要

まとめ

全2回のワークショップにて、どのように生活している環境を良くしていくのかという視点で参加者のみなさんに大事にすべき方向性やアイデアをいただきました。

都市計画マスタープランの内容については、今後、説明会など住民の方に広く発信する場を設けますので、みなさん是非ご参加をお願いします。詳細が決まりましたら、町のHPなどで発信します。

より住みよい島本町の実現のためには、住民のみなさんと一緒に取り組んでいくことが必要です。今後も町のまちづくりにご協力をお願いします。